

402 廃校施設福祉に活用

文部科学省

文部科学省が1月12日に公表した「廃校施設等活用状況実態調査」の結果で、2002～2015年度の14年間に廃校になった学校の校舎など402施設が福祉施設として再活用されていることが分かった。

14年間で廃校になった学校は6,811校で、校舎や体育館などが現存しているのは5,943施設。このうち4,198施設（現存施設の71%）が再活用されていた。

用途は社会体育施設が1,015か所で最も多く、社

会教育・文化施設675か所、福祉・医療施設424か所、企業等の施設370か所と続く。

福祉施設の内訳は老人福祉施設146か所、障害者施設92か所、放課後児童クラブ・子供教室75か所、保育施設48か所、児童福祉施設41か所だった。

なお、活用されていない1,745施設のうち1,260施設は、活用予定が決まっていなかった。

（福祉新聞・第2795号 2017年1月23日）